

俳句

仲夏

木々朗

くちなしの花咲く小道笑み交わす
降るごとに艶やかに咲く濃紫陽花
四阿あずまやに集う小道や額紫陽花
枝先きの額き合ひて走り梅雨
梅雨晴間かく碧き空ありにけり

雑詠 水無月

細田安治

大横川 流れ映うつろう 水の顔
上げ潮に くらげプカプカ 遠い旅
梅雨空に ツリー不機嫌 見え隠れ
水淀よどむ オボコ群れよる 橋の下
濁り水 エイふわふわと ここはどこ
水動く 汐しお一尺いっしやくも 月の引き



額紫陽花

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>